

第72号

JR春闘

発行日

2015. 3. 10

Super Highway

スーパーハイウェイ

JR東労組バス関東本部

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：中世古 俊明
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel.03-3375-5076 (NTT)

申13号「2015年度賃金引き上げに関する申し入れ」 主旨説明おこなう！！

組合

- 大きな輸送障害もなく、第3四半期における3億7900万円の利益確保の原動力はJR東労組組合員である。
- 社会全体として景気回復してきている。政労使会議の内容がマスコミを通じて注目されているが、労使での原則的な議論をしっかりとおこなっていく。
- 去年は一律500円のベアとなったが、名目賃金は下がり続けている。賃金は労働力の再生産費であることを踏まえて、2%要求は妥当なものである。
- 北陸新幹線・上野東京ライン・LCC 拡大等により厳しいことも確かだが、成田空港線参入はじめ新たなビジネスチャンスにもなりうる。
- 60歳以降契約社員は、正社員同様の仕事をしながら現状の賃金で士気が下がる一方。人材確保・育成の担い手として安定した雇用環境を創りあげていくべきだ。

会社

- 組合員の努力のもとでの利益確保で、申し入れ主旨は十分理解している。昨年よりは増益を見込んでいるが、コストを下げた中での収支構造のなかで議論をしていきたい。
- 動力費が下がっていることや、杉並・鍛冶橋駐車場の返却等、コントロールできない部分の利益が含まれていることも見なければならぬ。
- 2%でいけば8500万円/年の人件費増となる。63億の人件費のなか、一時金とは違い中長期的に見なければならぬ性質のものである。
- 去年は55歳以降の減額制度改訂・ベア実施を行ってきた。今後減額制度の更なる改善や、ふさわしい人事賃金制度の議論も見据えながらの協議となる。
- 3/14ダイヤ改正以降の影響は、想定できない部分が多い。状況を踏まえながらの協議としたい。

15春闘、全組合員で満額回答をかちとろう！

